

令和5年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	近 藤 千 鶴 議員	1 / 2
発 言 項 目		要 旨		答 弁 者
1	第20回統一地方選挙を終え、改めて市長の政治姿勢と市長に対する要望について	<p>今回の市長選は投票率45.8%で、過去最低の投票率になった。市長に投票した市民は、全体の投票者数の約55%の26,404人で、対立候補者が約45%の21,832人であった。また有権者全体に視野を広げると、総数106,769人のうち無投票の方が約54%の57,874人である。市長に投票した方は有権者全体からすれば、約25%である。その25%の数字を見ると、対立候補者に投票した方や今回何らかの理由で投票できなかった人の思いはないがしろにできないもので、しっかりと受け止めていく必要があると感じる。そこで以下、伺う。</p> <p>(1) 静岡市では選挙後、市長は対立候補者だった方と話合いの場を設けたと聞いているが、須藤市長にはその考えがあるのか。</p> <p>(2) 当選後の市長の発言に（仮称）富士宮市立郷土史博物館構想について「任期中に完成させることは難しいかもしれないが道筋はつけたい。」とあり、また、「博物館は絶対必要な施設」とも明言しているが、その気持ちに今も変わりはないのか。</p> <p>(3) （仮称）富士宮市立郷土史博物館構想について、選挙後「お互いに意見を出し、妥協しあうのが大事と思っている」と述べているが、昨年 of 住民説明会では大半の方が博物館構想に反対していた。また、今回の市長選挙でも選挙の争点になり、対立候補者が投票者数の45%を占めた結果を受けて、市民や多様な方の意見を聞く機会を設けることができないか。</p> <p>(4) 静岡朝日テレビの報道では、今回の市長選は「市民の良識の勝利」と報道されていたが、対立候補を応援した市民は良識がないと誤解され、市民を混乱させるものと考えるがいかがか。</p> <p>(5) 市長が当選してから芦澤副市長が辞任したが、その辞任理由に在任期間が長期にわたること、職員と年代の近い人へのバトンタッチ、任期一年を強く慰留されたこととあった。地方自治法163条に副市長の任期は4年とある中で、昨年 of 3月の会計年度末に早い決断はできなかったのか、また、4年間任期を全うできなかったのか。</p> <p>(6) 今までの、旧フィルムパークの売買や（仮称）富士宮市立郷土史博物館構想など、市民の理解を得ていないと考える。また、最近では「少子化対策推進本部」の立ち上げについては議員は何も知らされておらず、情報の共有ができていないと思う。今後、市民や議員に対して耳を傾ける謙虚な姿勢が求められると思うがいかがか。</p> <p>(7) 私の要望として、各委員会やその他の説明会など議員が傍聴でき、資料も共有できるような体制にしたいが、可能か。</p>		市長 副市長 関係部長

発言 順序	議席 番号	1	氏名	近 藤 千 鶴 議員	2 / 2
発 言 項 目			要 旨		答 弁 者
			(8) 議員の調査研究に情報を提供してもらう際に、肝心なところは開示請求するしか方法がない。職員の負担も重く請求する議員も心穏やかではない。私たち議員は、まず知ることから、いろいろな活動が始まる。お互いに信頼関係に基づき、富士宮市のために手を取り合って協力し合いたいと思う。情報の取扱いについての改善ができないか伺う。		
2	旧フィルムパークのその後について		(1) 旧フィルムパークの土地利用について国土利用計画法などに関して提出がされていると思うが、内容はいかがか。 (2) 現在、廃棄物の処理の工事に入っているが、西小学校及び富士宮第三中学校の通学路への影響並びに、近隣の交通事情は把握しているか。 (3) 新たな所有者とのコミュニケーションはできているのか。また市民にはどこまで知らされているのか。		市長 副市長 教育長 関係部長